



*Introducing Our New General Surgery/
Gastroenterological Surgery Team!*

地域連携情報誌

vol.55
2025年7月

いのちの誕生から生涯にわたって地域住民の
健康を支え、頼られる病院であり続けます



診療部 消化器外科 主任科部長
(兼) 消化器センター 副センター長
(兼) 診療部 外科 主任科部長

新関 亮

かつて日本人の主な死因は結核や脳血管疾患でしたが、1980年代以降は悪性新生物（がん）が第一位となり、現在もその傾向が続いています。現在では、日本人の2人に1人が生涯のうちに「がん」と診断され、4～6人に1人が「がん」で亡くなるとされており、「がん」は誰にとっても非常に身近な病気となりました。かつては“不治の病”とされていた「がん」ですが、近年では完治される患者さんや、長期生存される患者さんも増えています。予防や早期発見、そして根治性を損なうことのない低侵襲かつ安全な手術に、薬物療法の進歩が加わることで、多くの症例で根治が期待できるようになってきました。

現在では、画一的な治療ではなく、がんの進行度や全身状態に応じた最適な術式を選択できるようになっています。当院では、進行度によって、できるだけ臓器や機能を温存する縮小手術を行っています。たとえば、胃全摘を回避する噴門側胃切除術や、肛門を温存して直腸がんを切除する経肛門的全直腸間膜切除術（TaTME）、膵臓の大部分を温存できる膵中央切除術、脾臓を温存して膵臓を切除する脾温存膵体尾部切除術など、症例に応じて根治性と手術後のQOL（生活の質）を両立する治療が可能です。

さらに、腹腔鏡手術や手術支援ロボットを用いて、体への負担が少ない低侵襲手術を提供しています。当院では手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ（da Vinci）」を用いて、胃がんや大腸がん（結腸がん・直腸がん）の手術を実施しています。今年からは膵臓がんや食道がん、肝臓がんにも対応を予定しており、高精細の画像と繊細な鉗子動作によって、開腹手術より精緻な手術が期待できます。低侵襲手術では、小さな傷での痛みの低減、入院期間の短縮と早期の社会復帰が期待できます。高齢の患者さんでは、術後の早期離床はせん妄や認知症の予防、さらには術後の筋力低下の防止にもつながります。

良性疾患に対しても治療の選択肢は広がっています。胆石症や急性虫垂炎はもちろんのこと、急性腹症などの緊急手術においても、腹腔鏡手術による対応が可能な症例が増加しています。

当院では、こうした疾患に対して、消化器外科とともに、消化器内科、遺伝子診療部、緩和ケアセンターなど多くの診療科の専門家が連携し、患者さんに高度な医療を提供しています。ご紹介いただいた患者さんに確実に安全な医療を提供し、少しでも早くお元気にご家族のもとにお帰りいただけるよう、スタッフ一同、日々全力で取り組んでいます。

今後とも、変わらぬご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

① 外科／消化器外科

～腹腔鏡／ロボット支援手術のご紹介～

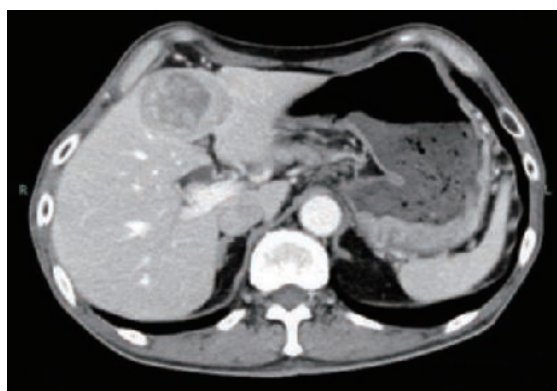
消化器外科の領域では、食道、胃、大腸、膵臓、肝臓に保険適応が認められています。これらの臓器における良性疾患、さらに胃がん、大腸がん（結腸がん、直腸がん）、膵体尾部がん、肝臓がん（原発性肝がん、転移性肝がん）が対象となります。高度のリンパ節転移や他臓器浸潤の有無、年齢や基礎疾患によって、開腹手術、腹腔鏡手術、ロボット支援手術の適応を検討します。

加古川中央市民病院では
ロボット支援手術の術者が7名、
膵臓・肝臓のロボット支援手術プロクターが1名
在籍しています。

以下、症例をご紹介します。

症例① 肝臓がん 【70代 男性】

- アルコール性慢性肝炎を背景とした肝細胞癌の症例です。6.4cmの肝細胞癌が、肝臓の外側区域、内側区域にまたがって存在していました。確実な腫瘍の切除とともに、体に負担の少ない治療を提供するために腹腔鏡で肝左葉を摘出しました。
- 手術：腹腔鏡下肝左葉切除術、手術時間：3時間28分、出血量100ml
 腹腔鏡手術は手術中の出血量の低減も期待できます。本例も無輸血で手術を行いました。
 手術後は順調に経過され、術後8日目に退院されました。



肝臓がんCT



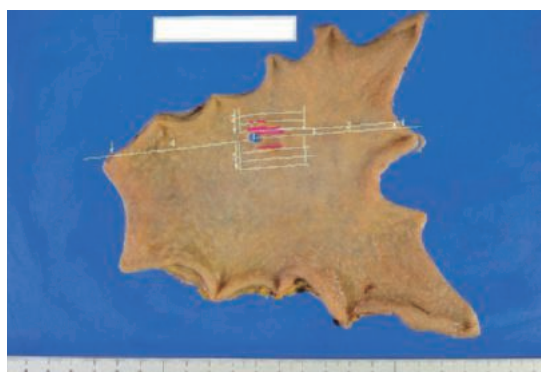
肝臓がん標本

症例② 胃がん 【80代 女性】

- 心窩部の不快感から、内視鏡で胃がんを指摘された患者さんです。
- 胃がんではロボット支援手術によって、低侵襲性だけでなく、腹腔鏡下手術よりも合併症が減少すること、長期予後が改善するが示されており、本例ではロボット支援下幽門側胃切除術を行いました。
- 手術時間は3時間29分で、出血量は少量のみで手術を行いました。手術後は早期の離床とともに、3日目から食事を開始し、手術後12日目に退院されました。



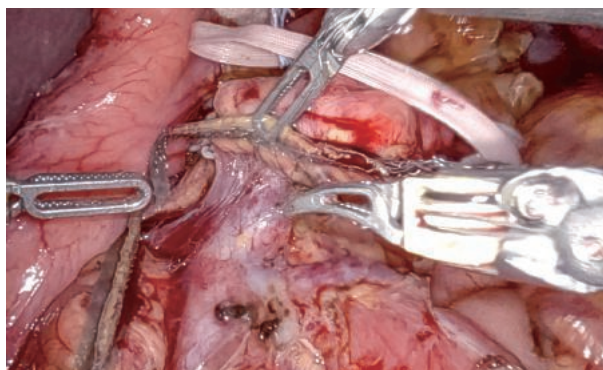
胃がん内視鏡



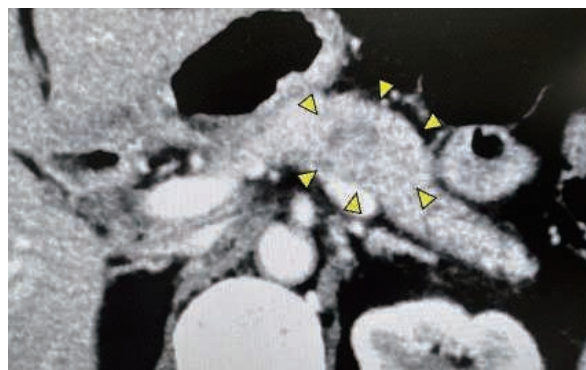
胃がん標本

症例③ 膵臓がん 【50代 女性】

- 術後早期の回復が期待できる低侵襲手術を行い、出来るだけ早い時期に術後補助化学療法を行いたいと考えました。術前化学療法を行った後にロボット支援下膵体尾部切除術を行いました。
- 手術時間は4時間47分、出血量は50mlで、膵液瘻などの合併症なく、手術後14日目に退院されました。本例は私が前任地で手術を行った症例ですが、**本年度からは加古川中央市民病院でも同様の手術を行うことが出来るようになりました。**



膵臓がん手術写真



膵臓がんCT



② 遺伝子診療部

～ゲノム医療はお任せください～

2023年にゲノム医療の推進に関する法律が策定され、ゲノム情報を利用した診療や治療の保険収載が年々拡大されています。遺伝子診療部は開設して5年経過し、**周産期、小児、がん、難病すべての遺伝性疾患に対応できる体制を整えています。**また、**2024年12月にがんゲノム医療連携病院に指定されました。**加古川市を中心とした東播磨医療圏のゲノム医療の更なる発展を目指していきます。今後も地域の先生方には、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

〈主な診療内容〉

● 難病や遺伝性腫瘍の遺伝学的診断と家族の解析

例) 遺伝性乳癌卵巣癌症候群の検査をしたい、診断された患者さんのご家族が検査を希望している

● NIPTなどの出生前診断

例) 高年妊娠のためダウン症候群などが心配

● 先天異常、発達遅滞などの診断・原因検索

例) マイクロアレイ染色体検査、研究での全エクソーム解析などで原因を調べたい

● 患者・家族への医学的な説明と心理面への対応（遺伝カウンセリング）

例) 他院で遺伝性疾患と診断されたが詳細を知りたい、家族が詳しい説明を希望している

〈対応可能な疾患例〉

先天異常	多発奇形、発達遅滞・知的障がい、代謝異常、骨系統疾患、未診断疾患など
腫瘍	遺伝性乳がん卵巣がん、結節性硬化症、神経線維腫症など
難病	脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、筋ジストロフィー症、ハンチントン病、原発性脂質異常症、先天性QT延長症候群、ファブリー病、マルファン症候群、TTRアミロイドーシス、先天難聴、ミトコンドリア病など

遺伝性疾患が疑われる方やご家族遺伝が心配な方ならどなたでも、**お気軽にご紹介ください！**



遺伝の専門医と認定遺伝カウンセラーの2名で対応します。
検査にかかわらず、相談だけでもご紹介ください。
未発症の方の対応も可能です。

詳細はホームページをご参照ください。⇒



〈お問合わせ先〉

TEL：079-451-5500 (代表)

担当：遺伝子診療部 青木（あおき）・米川（よねかわ）

新入職医師・退職医師のお知らせ



<入職> 2025年 5 月 1 日付

所 属	氏 名	役 職 名
救急科	樟 侑樹	

これからよろしくお願いいたします。

<退職> 2025年 6 月末付

所 属	氏 名	役 職 名
糖尿病・内分泌内科	岩谷 太史	
形成外科	難波 祐実	専 攻 医
麻酔科	辻本 健志	
歯科口腔外科	薄田 友里子	

皆様には大変お世話になりました。

診療科名変更のお知らせ

次のとおり2025年 4 月 1 日より診療科名の変更となりました。

旧) 糖尿病・代謝内科 ⇒ 新) 糖尿病・内分泌内科

診療科名を変更した診療情報提供書等の様式は、当院ホームページにて公開しています。

FAXの誤送信防止のためにご協力をお願いします

1. 当院へ送信される前にFAX番号を再度ご確認ください。
2. FAX機に短縮ダイヤル機能がありましたら、当院の番号を登録いただければ幸いです。

登録医のご案内

当院では、地域の医療機関の皆様と共同して、より良い医療を提供していくために『登録医制度』を実施しております。現在は350名を超える地域の先生方に登録していただいております。

医療連携をさらに充実させ、地域住民の要望に応えていきたいと考えておりますので、ご登録でない先生方におかれましては、ご検討いただけましたら幸いです。なお、当院ホームページにも登録医一覧を掲載させていただいております。

登録医の先生方には、

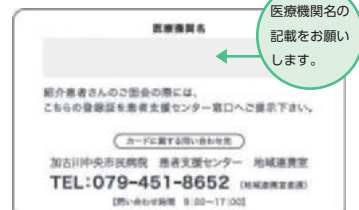
- ①開放病床のご利用・開放病床入院患者の手術、検査の立会・当院の診療録等医学資料の閲覧が可能となります。
- ②当院が主催する学術講演会、カンファレンスなどへ自由に参加でき、当院所有の図書の閲覧、複写も可能となります。
- ③インターネット予約をご利用いただけます。

患者面会のご案内

当院への来院時の流れ（ご紹介患者の面会）

- 1) 平日時間内であれば、患者支援センターにある入院支援窓口にお越しください。休日・時間外であれば、総合案内または時間外受付にお越しください。
- 2) 窓口にて上記の開放病床登録医登録証の提示をお願いします。
- 3) 病室に入られる際には、ご持参いただいた登録証を面会カードに入れていただきます。

※スムーズにご案内するためにも事前に当院への来院が予定されている場合には、地域連携室に連絡をお願いします。患者さんへの面会は、当院の面会手順にそって対応します。ご面会できない場合もありますのでご了承をお願いします。



連携医紹介

当院と連携いただいている医療機関をご紹介します。

明石なないろキッズクリニック

診療科：小児科／小児外科

2024年11月に明石なないろキッズクリニックを開院いたしました林宏昭と申します。

私ははじめ小児外科医として様々な手術を行ってきました。そこから小児科に転科して、現在にいたります。小児科と小児外科を経験したことで、より広く、より深く子供の診察ができると考えています。

当院は3階にある耳鼻科との連携を密にとりながら1箇所ですべての専門的な治療が受けられるのが大きな特徴です。それに加えて、診察終了後の状態増悪に備えてLINE等で直接連絡が取れるようなシステムを作り、アフターフォローにも力を入れています。

「なないろにきてよかった。また病気になったらなないろに行く」と言ってもらえるようにスタッフ一同頑張っていきます。未熟なクリニックですが、患者さんとともに成長していけたらと思っています。今後ともご指導のほど、よろしくお願いします。



院長 林 宏昭 先生

HPは
こちら



所在地：明石市立石2丁目3番26号

NTR医療ビル明石2F

駐車場：クリニック前に専用駐車場あり

(満車の際は、「タイムパーキング明石立石2丁目」に駐車ください。)

TEL. 078-923-7716

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~12:00	○	○	○	○	○	△	—
15:30~16:30	★	★	★	★	★	—	—
16:30~19:00	○	○	○	○	○	—	—

休診日：土曜午後・日曜・祝日 ★ワクチン △土曜日のみ 12:30迄

西明石岡本クリニック

診療科：腎臓内科（人工透析）
／内科

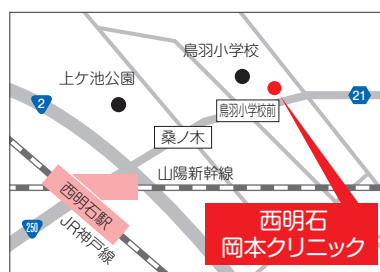
2025年3月に西明石北町に西明石岡本クリニックを開院いたしました。地域の透析患者様に良質な血液透析、腹膜透析医療を提供すると同時に、腎臓内科医として慢性腎臓病や安定している腎炎・ネフローゼ症候群などの患者様の治療にも尽力しております。慢性腎臓病の原因となる生活習慣病の管理にも力を入れ、内科かかりつけ医として診療科の分け隔てなく診療しています。

血液透析は患者様の身体的・時間的負担が非常に大きく、できる限り避けたい治療です。そのためには腎臓病の早期発見、そして最大限の腎保護治療が重要です。尿検査異常や腎機能低下を呈する患者様がおられましたら、少しの異常でも是非ご紹介ください。末期腎不全に至ってしまった患者様には腎代替療法について詳しく説明し、納得いただくまで話し合ってから方針を決めています。透析導入後は患者様ごとに日々の治療内容を細かく調整し、心血管系などの合併症抑制と良質なQOLの維持に努めております。他の医療施設様と連携をうまく取りながら、地域医療の発展に寄与させていただきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願い致します。



院長 岡本 光平 先生

HPは
こちら



所在地：明石市西明石北町2丁目1-11

駐車場：3台

TEL. 078-923-7740

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	—
15:00~18:00	○	○	○	○	○	—	—
透析時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~13:00	○	○	○	○	○	○	—
14:00~18:00	○	—	○	—	○	—	—

休診日：土曜午後・日曜・祝日

※変更などにより診療時間・休診日等が記載と異なる場合がございますのでご注意ください。

地域連携会議開催の御礼

2025年5月8日(木)に加古川プラザホテルにて「地域連携会議」を開催いたしました。昨年はコロナ禍のために5年ぶりの現地開催でしたが、今年も無事現地開催ができ、昨年を超える多くの方にご参加いただきましたことを改めて御礼申し上げます。

第1部の講演会では、「消化器内科の紹介」「心臓血管外科の活動報告」「当院における緩和ケアの取り組み」の3つの演題で、各診療科の主任科部長の医師より発表をいたしました。参加された方からは、「内容が具体的でわかりやすかった。」「病院全体の意識の高さが伺えた。」「先生方の熱意を知ることができた。」などの感想をいただきました。

第2部の懇親会では、普段電話だけやお会いできない方と顔の見える交流の機会として、大変盛り上がりました。「さまざまな医療機関の方とお会いでき良かった。」「地域医療にとって大切な時間だと思います。」「普段お会いできない方々に会えてお話ができるので良かった。」といった感想もいただき、当院職員にとってもたいへん貴重な機会となりました。

今後も地域医療に貢献できるように様々な取り組みを行って参ります。

〈第1部〉



〈第2部〉

